

条幅規定

師範正 鳥飼 眞理

運腕大きく、深みのある線で伸びやかに堂々と書かれているが、手本に囚われず、文字の大小、潤濁、気脈など自己の味を少し加えると鳥飼ワールドが見えてくるだろう。目標を決めて精進を。

条幅随意(臨書)

成家 立谷 青霞

永年の研鑽により、古典の正確な読解力と技術で格調の高さも窺え、成家らしい作品である。古典の習得は書の基礎。反復練習を重ね、自己の研鑽を。新しいものを求め日々新たなでいよう。

条幅随意

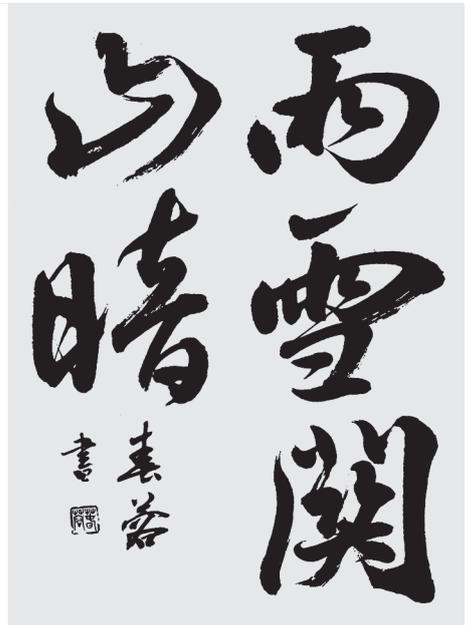
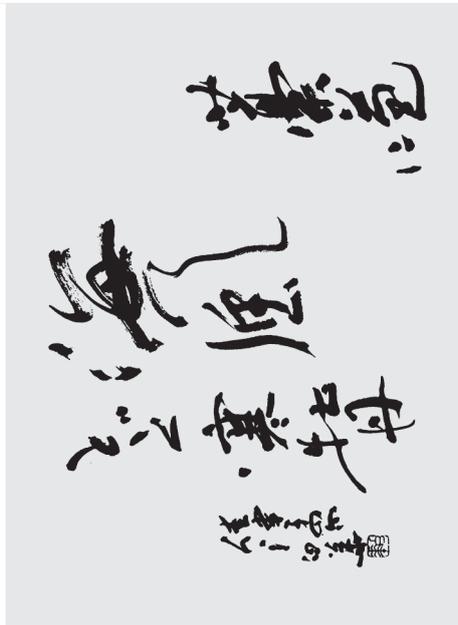
師範正 白石 青桃

「生きた書芸術を作るためには、新しい内容を盛るにふさわしい新しい形式を創造していかなければならない。」と言われています。今回の作品は日頃とは違う何かを感じさせてくれます。精進を。

半折 ½横

師範正 秦 鶴芳

手本に囚われず深味のある線でゆったりと書き進んだ、奇をてらわず、渋みのある落ち着いた作品に好感が持てる。ただ落款部分が今一步。余白にあわせ、た名前と雅印の大きさに一考を。



半紙規定

師範正 平田 春蓉

少し手本に捉われて、いる感もありますが、強さと勢いと思いきりのよさが作品に生命感を与えている。手本にない書風で新しい自分発見に挑戦してみよう。期待大。

半紙随意

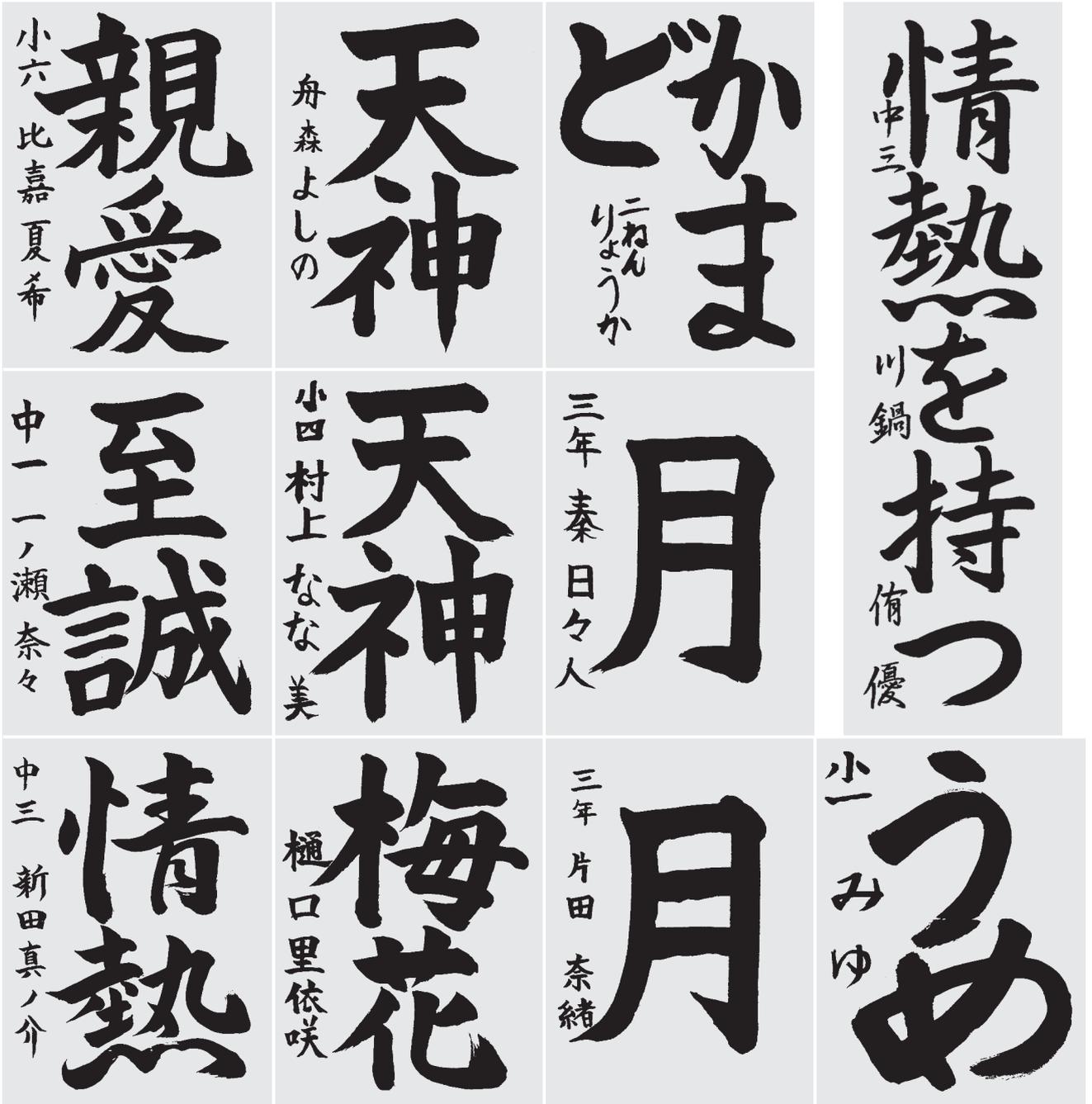
師範正 田尻 白華

リズムに乗った切れ味のよいシープな線と自然な筆捌きが作品に生命感を与えている。もう少し運筆に遅速の変化が加われば線に新たな豊かさが出てくるであろう。期待大。

半紙随意(臨書)

準師範 佐藤 銀川

若さに任せた深みのある線と抑揚と緩急の変化を効かせ、迷いのない確かな構築性が存在感を豊かなものにしてている。これからの開花とどんな実が生るのか楽しみな一人である。



学生部条幅 (1/4)

中三 特待生 川鍋 侑優  
 コツコツと積み重ねた成果が作品に表れています。漢字と平仮名のバランス、流れともに完成度の高い作品です。名前も見事。一般部でも頑張りましたよ。

田中りようか 小二 準初段  
 一字一字、とても形よく、ていねいに書いています。二年生です。書き始めから名前まで集中力です。これからも上手に書けていきます。

秦 日々人 小三 1級  
 日ごろの一生懸命に練習した成果だと思えます。書き始めから名前まで集中力を切らさず、とても上手に書けています。

舟森よしの 小四 準五段  
 とてもむずかしい課題でしたが、細かな点にも気をつけてバランスよく書いています。さすが上位有段者の作品です。

村上奈々美 小四 準3級  
 半紙いっぱい伸びやかに書いています。思い切りのよい線にみ力を感じます。上位有段者に負けない力の持ち主です。

比嘉 夏希 小六 四段  
 お手本と見間違えうほど、細かな点までお手本をよく観て、形よく書いています。名前もすばらしい。今後、更に期待します。

一ノ瀬奈々 中一 準六段  
 書き始めから名前まで集中力を切らさず、しっかりと書けた素晴らしい作品です。晴しい作品です。日頃の練習の賜ですね。今後、期待大です。

新田真ノ介 中二・三 準五段  
 勢いのある線にとても魅力を感じる作品です。中三まで続けたことは素晴らしい！高年生になっても頑張ってください。

鷺崎 未結 小一 準8級

はんしいっぱいに、みゆさんのげんきがあふれたりつばななくひんです。これからはおけいこがんばってくださいね。

片田 奈緒 小三 準1級

のびやかな線でのびやかに線が明るく、元気のよい月が書けましたね。き本のふでづかいがしっかりとでき、すばらしい作品です。

樋口里依咲 小五 準四段

どっしりと力強い線が元気がよく書けています。ハネッ、ハライ、は筆の軸をまわさないように気をつけることさらに良くなります。

# 硬筆部最優秀作品

(11月末日締切分)

(坂元紫香先生評)

「やま」のす  
がたから、「山」  
と「いう」かん字  
か「でさました。  
大いけそうろうつ

友だちと、おたが  
いの考えのよい  
ところを見つけてな  
がら話し合おう。  
にぶひより

多くの人がほとんど毎  
日口にしているものは  
大豆でいろいろな食品  
にすがたをかえている。  
ふく田 ゆい

世界の博物館や美しゅつ  
館などで古くからある絵  
画や手紙のしゅうふくに  
和紙が使われています。

世界の博物館や美しゅつ  
館などで古くからある絵  
画や手紙のしゅうふくに  
和紙が使われています。

秋の日は短くて日がしずみか  
けていた。川土手をゆっくり歩  
いて橋に向かった。静かに流れ  
る川、夕日を受けて赤く光る水。  
わたしはらんかんにもたれた。  
五年 宇都宮千尋

「かわせみだ。子どもらのかには、  
首をすくめて言いました。お父さ  
んのかには遠眼鏡のような両方  
の目をあらんかぎりのばしてよ  
くよく見てから言いました。

「かわせみだ。子どもらのかには、  
首をすくめて言いました。お父さ  
んのかには遠眼鏡のような両方  
の目をあらんかぎりのばしてよ  
くよく見てから言いました。

流水が私たちの生活に深く関係  
しているのと同様に、私たちの暮ら  
し方も流水に影響を与えている  
のだ。流水の減少は、人類に対する  
自然からの警告かもしれない。

流水が私たちの生活に深く関係  
しているのと同様に、私たちの暮ら  
し方も流水に影響を与えている  
のだ。流水の減少は、人類に対する  
自然からの警告かもしれない。

「この度は心のこもったお祝をいただき誠に  
ありがたうございました。お礼のしるしに  
さやか子や、いもやが、おれのしるしに  
心ばかりの品をお贈りさせていただきます。  
ご笑納いただきありがとうございます。  
下記住所に新居を構えようとするお近く  
へお越しの際は立ち寄りください。  
今後ともどうぞご指導のほど、よろしく  
お願い申し上げます。  
榎橋 篤子 謹啓

徳川時代の日本人の創造力を回復  
しようと思えば、我々もまた、徳  
川時代の思想家や芸術家がそうし  
たように、創造的な仕事に、我々の人  
格の全体を投げなければならぬ。

大池奏一朗  
小一 準七級  
むずかしいッペ  
ン」をしようと  
につかて、一  
字一字きれいに  
書きましたね。  
しっかりとおけ  
いこのできたさ  
くひんです。

熊登御堂宇穂  
小四 準四段  
ペンを上手に使  
い、漢字と平仮  
名のバランスも  
良く、明るく書  
けています。さ  
すが、上位有段  
者の作品です。  
さらに期待して  
います。

川口 栞空  
小四 準初段  
お手本をよく見  
て、一字一字形  
よく、とても丁  
ねいに書けてい  
ます。今後は、  
鉛筆をもう少し  
軽く握ると更に  
良くなりますよ。

宇都宮千尋  
小五 準五段  
さすが上位有段  
さすの作品です。  
お手本の細部ま  
でよく見て、漢  
字と平仮名のバ  
ランスが良く、  
とても明るく書  
けています。

玉置 藍  
小六 準五段  
書き始めから名  
前まで集中し、  
とても上手に書  
けましたね。日  
頃の努力の成果  
だと思えます。  
これからも頑張  
って下さいね。

榎原千聖  
小六 四段  
一字一字お手本  
をよく見て、形  
良くとても丁寧  
に書けています。  
さらに上段位を  
目指してこれか  
からも頑張って下  
さい。

吉田 楓未  
中学 準四段  
お手本の細部ま  
でよく見て、形  
良くとても上手  
に書けています。  
漢字と平仮名の  
バランスも見事  
です。今後、更  
に期待します。

榎橋 篤子  
一般 師範正  
自己の自然なり  
ズムで、優しい  
音楽を奏するよ  
うに流れ良く書  
けています。継  
続は力なり、永  
年培った「賜」で  
すね。見事です。

白濱かずみ  
一般 準五段  
漢字と平仮名の  
バランスが良く、  
力みのない線で  
美しく纏められ  
た点に腕の確か  
さを感じます。  
更なる精進に期  
待します。